

高塚直裕と川手鷹彦のサロン文化 対談「認知症と自閉症」 後半は恒例 七色のカレーパーティ



様々な面で酷似する子どもに還った老人と子どものままだに生きる人
現代を象徴するふたつの現象を現場の医師と治療教育者が解明する！

2014. 11. 24. (月)

13:30 開場 14:00 開演

詩と藝術の館 ポエティカ

(北海道夕張郡長沼町幌内1720-275 ポロナイクリニック横)

参加費 2,000円 お問い合わせ 電話 0123-84-2864 (ポロナイクリニック)

高塚直裕 (たかつかなおひろ)

精神科医、ポロナイクリニック院長、北海道岩見沢児童相談所嘱託医。
白樺の木立に狐が訪れ、池と小川に葦の揺れる院庭に、詩と藝術の館
ポエティカを建設し主宰、多くの才能ある藝術家に発表・公演の場を
提供する。なおポエティカは、命名川手鷹彦、設計畠中秀幸によるも
のである。

川手鷹彦 (かわてたかひこ)

演出家、著述家、治療教育者

スイスのゲーテアヌム言語造形・舞台藝術学院卒業。

日欧の子どもの心の保護に携わる。2000年に法務省保護局の依頼で始まった「オイディプス王」等、各地の演劇塾は
大きな社会的反響を呼んでいる。また東京大学等での美的・藝術的な講義内容が好評を博す。

現在、一般財団法人《花の家》(北海道・東京・沖縄)代表理事。

2013年に沖縄県名護市の屋我地診療所に治療教育外来を開設。

2014年より中国の北京春之谷教員養成大学言語造形・演劇及び治療教育者養成プログラム立案者兼筆頭講師を務める。

著書に『隠された子どもの叡知』(誠信書房)、物語集+物語論『とらのおかみ、子どもらの心が生んだ物語』(地湧
社)など。

川手鷹彦オフィシャルページ <http://kawatetakahiko.info/>